

規制改革会議 委員各位
厚生労働大臣 殿

保育所つくってネットワーク
代表 斉藤真里子

保育の規制緩和に対する保護者の意見

～待機児童解消を願う当事者の思いをゆがめず、向き合ってください～

私たちは、待機児童問題に直面した親として、規制改革会議が「2年間で待機児童ゼロを目指してあらゆる措置を講じる」との目標を掲げ、検討を重ねていることに、つよい関心をもっています。しかし、会議内容を拝見し、当事者である私たちの思いがきちんと届いておらず、願いに反する方向にすすみかねないと考え、意見を述べさせていただきます。

【私たちの意見】

私たちが待機児童解消を訴えるのは、希望するすべての子どもが安心・安全な保育を受けられるようにするためです。保育士配置や面積の基準を引き下げ、子どもにしわ寄せを押し付けることは、一切望んでおりません。子どもの健やかな成長を支えるため、現在の基準を守ったうえで、待機児童対策をすすめるべきと考えます。

【理由や背景】

「保育所つくってネットワーク」は、2011年春、待機児童問題に直面した東京都足立区の親たちで立ち上げました。以来、アンケート活動やシンポジウムなどをつうじ、多くの切実な声にふれてきました。

待機児童問題に直面する親に共通するのは、「子どもによりよい保育を受けさせたい」という願いです。「保活」に必死になるのも、異議申立ての声を上げるのも、そうした保育園が少ないからです。とくに、「保活」で多くの保育園を訪問し、狭い部屋に詰め込まれた子どもを少数の保育士が対応している現状にもふれる中で、不安をつよめてきました。

現に、基準がより低い認可外保育園での死亡事故は増加傾向にあり、その比率は、認可保育園の約20倍にもものぼるといわれています。足立区でも、2005年、認可外保育園で生後5ヶ月の女兒が死亡し、保育士資格をもたず対応していた女性が罪に問われました。私たちは、こうした悲劇を二度とくり返してはならないと深く胸に刻みながら、待機児童の解消を訴えてきました。

もし保育士の有資格者を減らし、詰め込みを加速する基準緩和がおこなわれれば、子どもの犠牲はさらに増えかねず、親たちはいっそうの不安に駆られることとなります。

私たちにとって、保育園は子どもの命をあずける場であり、保育士は命をあずかって成長を育む、かけがえのない存在です。本来であれば、他の先進国からみて低すぎる基準の引き上げこそ、求められます。保育士としての専門性をそなえた方々が、ゆとりをもって子どもに対応できる条件を整えていただくことを、切に願います。

以上

「保育所つくってネットワーク」の紹介

2011年春、東京都足立区で、待機児童をかかえた親が異議申立てし、活動を開始しました。認可保育園にあずけられなかった親や、「保活」で大変な思いをした親など、約50人がつながっています。これまで、アンケート活動やシンポジウム、交流会、署名活動、自治体担当者との懇談、地方議会の傍聴などをおこなってきました。

□ アンケート調査で深刻な実態を把握、広く発信

2011年10月末から12月、マンションなどに配布したアンケートに、就学前の子をもつ137人から返答がよせられました。この結果は、自治体担当者や区議会の全会派に届けるとともに、マスコミ各社に報じていただきました。詳細は、下記ブログをご参照ください。

- ・ 保育への要望では、「保育施設をふやしてほしい」81.7%と圧倒的に多く、その回答者の86.6%が、認可保育園の増設を求めています。
- ・ 多くの切実な声や叫びが、よせられました。

「保育園を確保できないストレスがすごくて、2人目を産む気になれない」

「入れそうな園を探すうちに体調を崩して、結局働けなくなってしまった」

「近くで入れず、片道1時間（乗り換え1回）の通勤を親子で続けました」 etc.

□ 自治体への働きかけと、その変化

認可保育園の増設をもとめ、足立区に対して陳情署名8853人分を提出し、育休中の子連れのママらで区議会の傍聴をかさねています。かたくなに拒否していた行政や議会の姿勢も変化し、昨年、5つの認可園の増設が決まりました。世論の広がりの中、今春、足立区で異議申立てに立ち上がるグループも生まれ、連携して活動をすすめています。

□ おもな報道

- ・ NHKスペシャル「日本新生」2011年12月17日、VTRにて代表が発言
- ・ NHK「あさいち」2012年3月15日、ネットワークの活動をレポート
- ・ NHKスペシャル「日本新生」2013年4月6日、代表が発言
- ・ 女性セブン2013年3月28日号「待機児童ママの『これは変えなきゃ!』」
- ・ 週刊文春2013年4月18日号「待機児童を救え!」
- ・ 東京新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、AERA、ニューヨークタイムス、フジテレビなどで取り上げていただきました。

【保育所つくってネットワーク】

メール tsukuttenet@gmail.com

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/tsukuttenet>

携帯 090-9823-3212 齊藤真里子（平日の日中は仕事のため出られません）

以 上